



01

同梱物を確認しよう

パッケージを開いたら、すべてのものが入っているか確認してください。不足している場合は、お買い上げになった販売店にお問い合わせください。
※ このパッケージには、キック・ペダルは含まれていません。市販のものをお使いください。

MDS-4V / MDS-Compact

※ スタンド (MDS-4V / MDS-Compact) の付属品は、それぞれの取扱説明書を見ながら確認してください。

□ ハイハット・コントロール・ペダル (FD-9)

□ キック・パッド (KD-10)

□ シンバル・パッド ハイハット用 (CY-5)

□ V シンバル クラッシュ/ライド用 (CY-8 × 2)

□ V パッド スネア用 (PDX-12)

□ V パッド タム用 (PDX-8 × 3)

□ ドラム音源 (TD) (TD-17 または TD-17-L)

□ 接続ケーブル (TD 専用)

□ AC アダプター

TD-17KV パーツ

□ セットアップ・ガイド (本書)
□ 取扱説明書セット
□ ドラム・キー
□ ローランド ユーザー登録カード

02

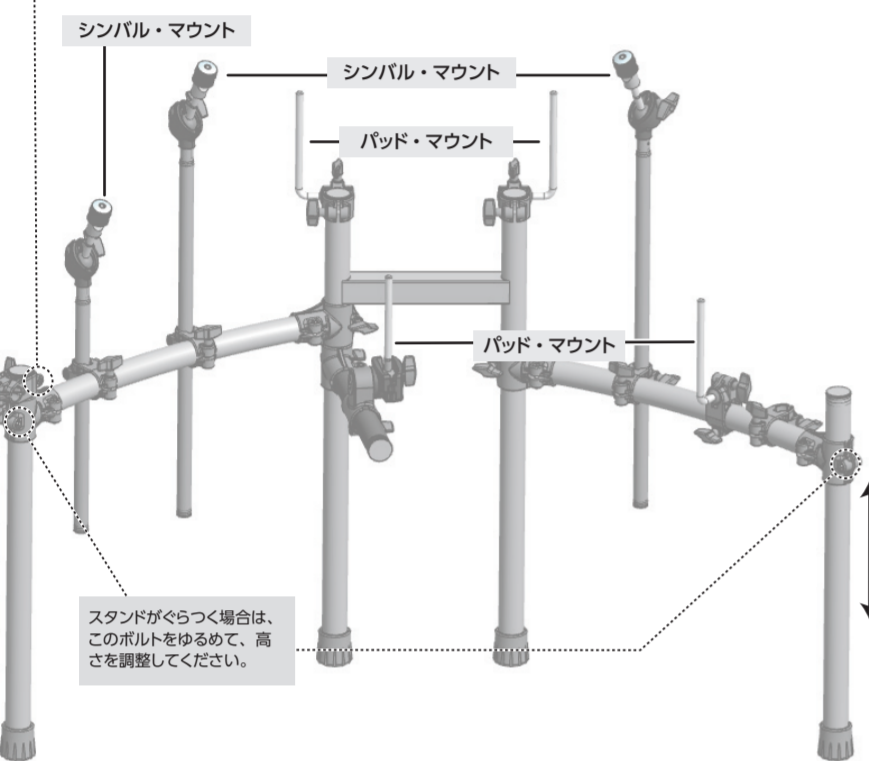
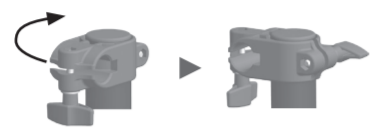
スタンドを組み立てよう

※ マウントの先端はとがっています。取り扱いに注意して作業してください。
※ スタンドのセッティングや収納をするときは、スタンドを持っている指をはさまないように注意してください。

組み立ての手順

スタンド (MDS-4V または MDS-Compact) は、それぞれの取扱説明書の手順に従って組み立ててください。

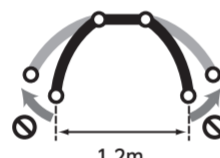
このハンド・ノブをゆるめて、マウント・ホルダー L を矢印の方向に 90 度回転させます。



MDS-Compact

スタンドが MDS-Compact の場合は、取扱説明書の手順に従って A タイプ(ハイハット用)で組み立ててください。

※ 安全のため、両端のスタンド脚パイプの距離を 1.2m 以上離さないでください。



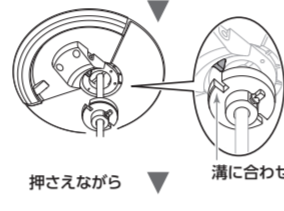
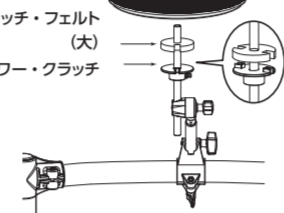
03

各パーツを取り付けよう

ハイハット (CY-5) を取り付ける

MDS-4V

アッパー・クラッチ
クラッチ・フェルト (小)
クラッチ・フェルト (大)
ローワ・クラッチ



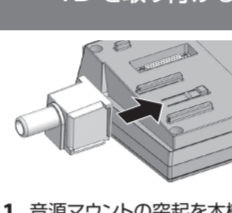
MDS-Compact

[Roland] の文字を演奏者から見て奥側に
シンバル・ナット
フェルト・ワッシャー

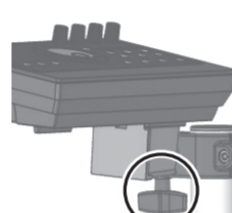


パッドを叩いたときに、ぐらつかない程度にシンバル・ナットを締めます。スタンド付属のシンバル・ナットとフェルト・ワッシャーをお使いください。

TD を取り付ける



1. 音源マウントの突起を本機のレールに合わせ、「カチッ」と音がするまでスライドさせます。



2. マウント・ホルダーのハンド・ノブをゆるめて、音源マウントを差し込みます。
3. TD の角度を調整してから、ハンド・ノブを締めます。

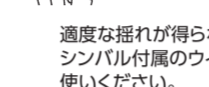
クラッシュ・シンバル (CY-8) とライド・シンバル (CY-8) を取り付ける

MDS-4V

ドラム・キーで締めつける

回り止め (向きに注意)
ボルトは、演奏者側から見て右側になるように取りつけます。

[Roland] の文字を演奏者から見て奥側に
ウイング・ナット
フェルト・ワッシャー



適度な揺れが得られるように、ウイング・ナットを締めます。シンバル付属のウイング・ナットとフェルト・ワッシャーをお使いください。

MDS-Compact

[Roland] の文字を演奏者から見て奥側に

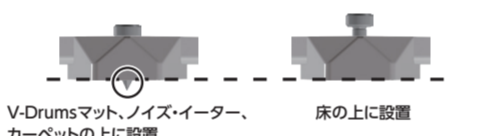
シンバル・ナット
フェルト・ワッシャー



適度な揺れが得られるように、シンバル・ナットを締めます。スタンド付属のシンバル・ナットとフェルト・ワッシャーをお使いください。

ハイハット・コントロール・ペダル (FD-9) を設置する

V-Drums マット、ノイズ・イーター (NE-10)、またはカーペットの上で使用するとき、アンカー・ボルトを出して使うと、FD-9 が固定され、演奏しやすくなります。

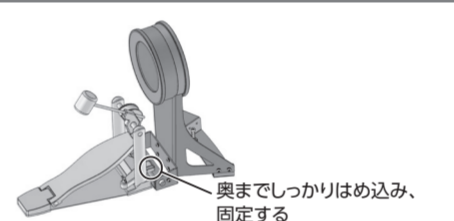


アンカー・ボルト



※ アンカー・ボルトの先端はとがっていますので、取り扱いに注意してください。
※ フローリングなどの床の上でアンカー・ボルトを使用すると、床を傷つける恐れがあります。

キック (KD-10) を取り付ける

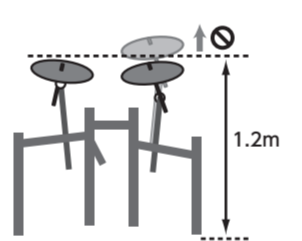


スネア (PDX-12) とタム (PDX-8) を取り付ける

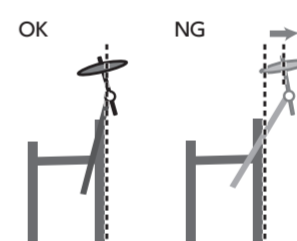


シンバルの位置調節

シンバルの最も高い部分が 1.2m 以下になるように、ロッドの高さを調節してください。



シンバルの中心が、本体のパイプ (スタンドの一番後ろ側のパイプ) よりも後ろにはみ出さないように取り付けてください。

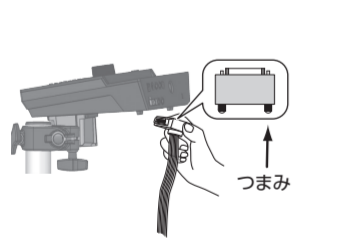


04

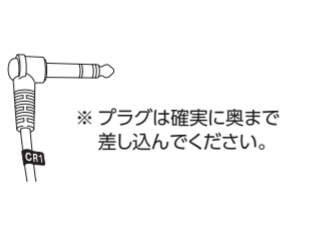
パッドと TD を接続しよう

接続の手順

1. 接続ケーブルを図のようにドラム音源に接続します。コネクタを奥まで差し込み、つまみを回して固定してください。



2. ケーブルには、接続するパッドを示したシールが貼られています。図を参考に接続してください。

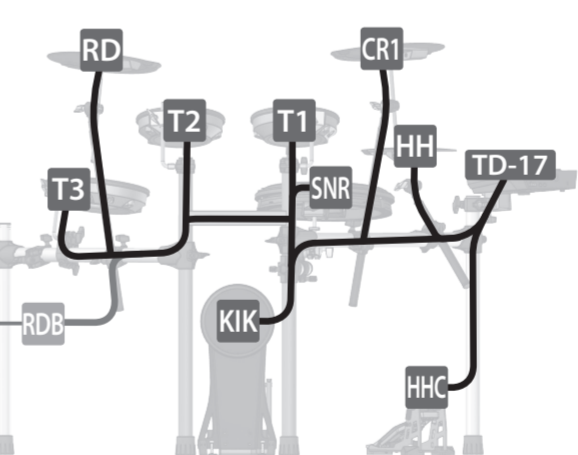


※ プラグは確実に奥まで差し込んでください。

※ ケーブルは、演奏の妨げにならないように、ケーブル・クリップとケーブル・タイを使って固定してください。ケーブル・タイは、必ずパイプに巻きつけてください。

※ RDB のケーブルは接続しません。キャップを着けたまま、演奏の妨げにならないように固定してください。

背面から見た図



05

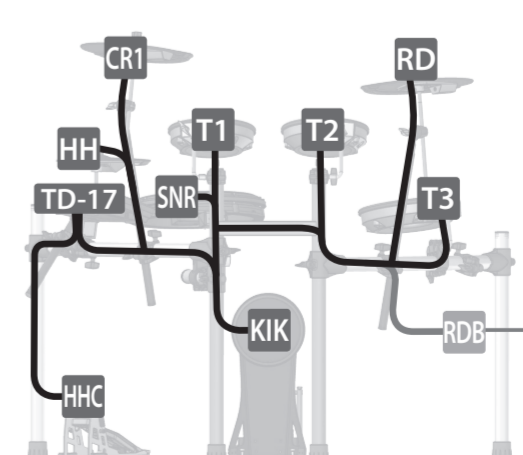
AC アダプターやスピーカーを接続しよう

TD の取扱説明書を参考にして、AC アダプター、スピーカーやヘッドホンに接続します。

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

ケーブルは、図のように接続してください。

背面から見た図



※ RDB のケーブルは接続しません。キャップを着けたまま、演奏の妨げにならないように固定してください。

左利き用のセッティングにする場合

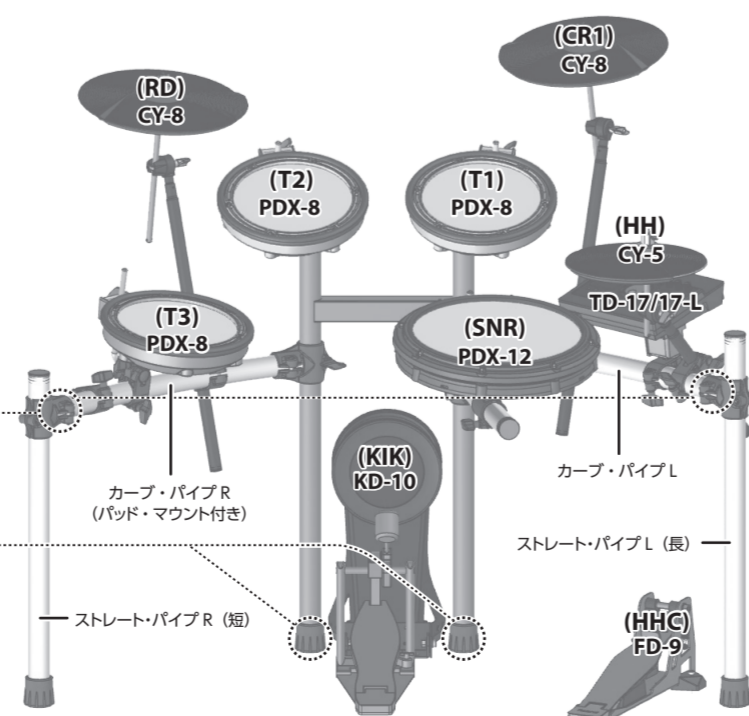
本ガイドで説明しているセッティングは右利き用です。左利き用のセッティングにする場合は、以下のように部品を付け替えてください。

- カーブ・パイプ L と R、ストレート・パイプ L と R を左右対称に入れ替える。
- マウント・ホルダー L を、カーブ・パイプ L に付け替える。
- ホルダー C とスネア・パイプを右側に付け替える。
- 各パッド/シンバル類を、取り付けマウントごと左右対称に入れ替える。
- TD を、音源マウントごと左右対称に入れ替える。

カーブ・パイプを入れ替えたあと、パイプに付いている印がホルダーのすき間から見えるように、パイプに取り付けます。



キャップをはずして、ホルダー C とスネア・パイプを取りはずし、右側に付け替えます。



これで、組み立てと接続が完了しました。

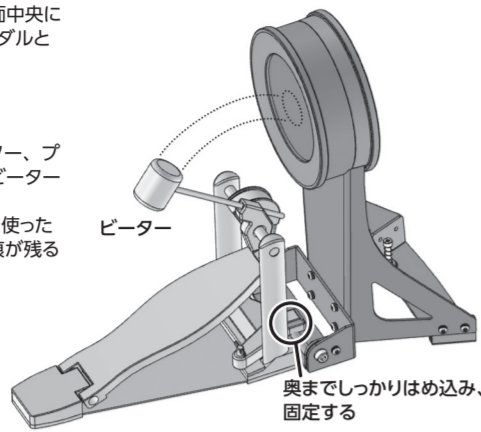
■ 接続が完了したら『TD-17 / 17-L 取扱説明書』の手順に従って電源を入れ、音が鳴るかを確認してください。

■ KD-10 (キック)

01 キック・ペダルを取り付けます。

ピーターの位置がKD-10の打面中央に当たるように調整し、キック・ペダルとKD-10を確実に固定します。

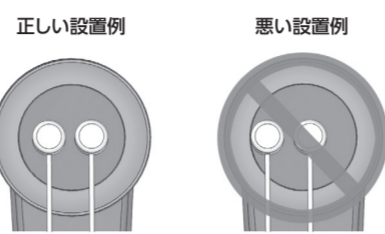
※ ピーターは、フェルト・ピーター、プラスチック・ピーター、ウッド・ピーターなどをお使いいただけます。ただし、フェルト・ピーターを使ったときは、打面にフェルトの打痕が残る場合があります。



ツイン・ペダルを使う場合

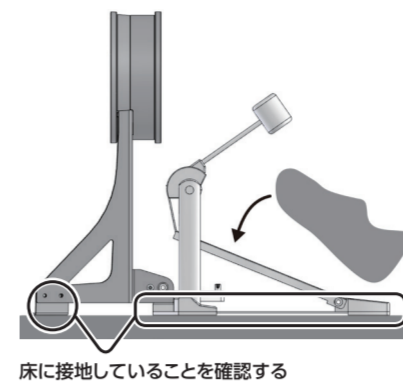
図のように、左右のピーターがパッドの中心から等しい距離になるようにセットしてください。ピーターの位置がずれると、片方のペダルの音が小さくなったり、正しく発音しなかったりすることがあります。

また、ツイン・ペダルを使用した場合、シングル・ペダルに比べて、感度が低くなります。音源側の感度 (Sensitivity) を上げてください。詳しくは、TDの取扱説明書をご覧ください。



02 キック・ペダルを踏んで、取り付けを安定させます

KD-10のベースとキック・ペダルが床に接地していることを確認してください。



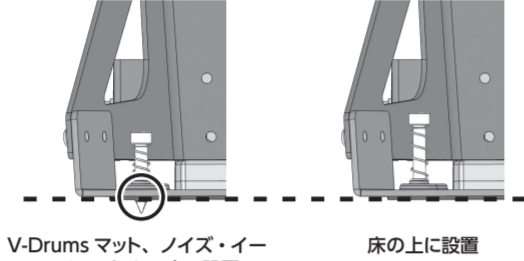
【注意！】

- ※ KD-10とキック・ペダルを確実に取り付けてください。
- ※ 指を挟まないよう、十分に注意しながら作業してください。
- ※ 使用状況によっては、ペダル取り付けプレートのボルトがゆるみ、演奏時にペダルがたつくことがあります。その場合は、市販の工具を使ってボルトを締めつけてください。

03 アンカー・ボルトを調整します。

V-Drums マット、ノイズ・イーター (NE-10)、またはカーペットの上で使用する場合、ベースに付いている滑り止めテープによってKD-10が固定されます。

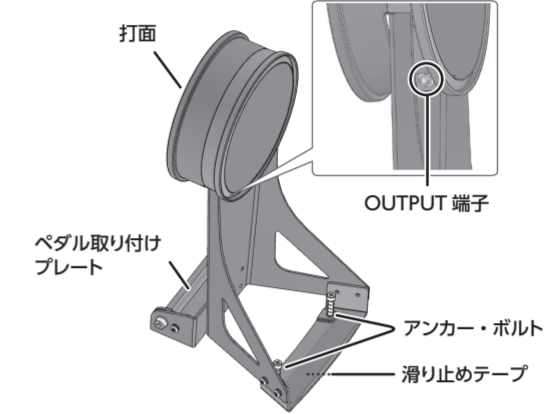
それだけでは安定しないときは、アンカー・ボルトの先端をベースから出して使くと、さらにKD-10が固定され、演奏しやすくなります。



【注意！】

- ※ フローリングなどの床でアンカー・ボルトを使用すると、床を傷つける恐れがあります。
- ※ アンカー・ボルトの先端はとがっていますので、取り扱いに注意してください。

各部の名称

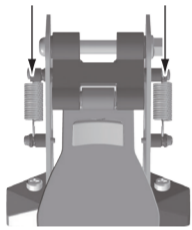


■ FD-9 (ハイハット・コントロール・ペダル)

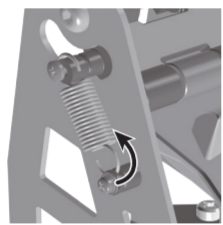
フィーリングの調整

左右のスプリングどちらか1つをはずして、フィーリングを軽くすることができます。スプリングの取りはずし/取り付けをするときは、指などはさまないようご注意ください。

どちらかをはずす

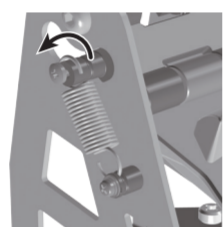


1. 下側のフックをはずします。

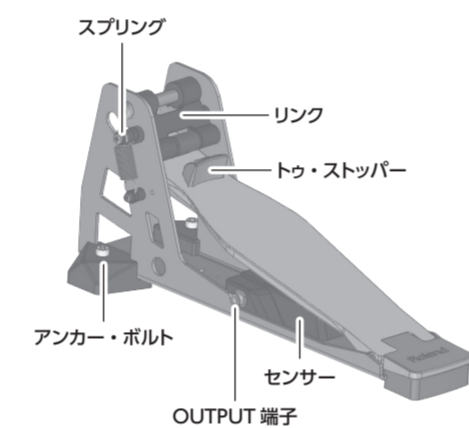


2. 上側のフックをはずします。

再び取り付けるときは、上側のフックから取り付けます。

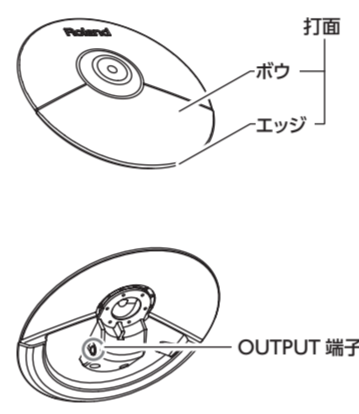


各部の名称



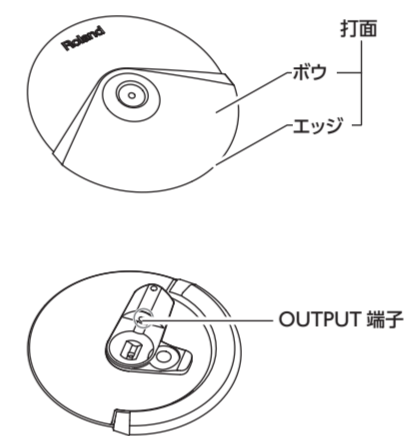
■ CY-5 (ハイハット)

CY-5 各部の名称

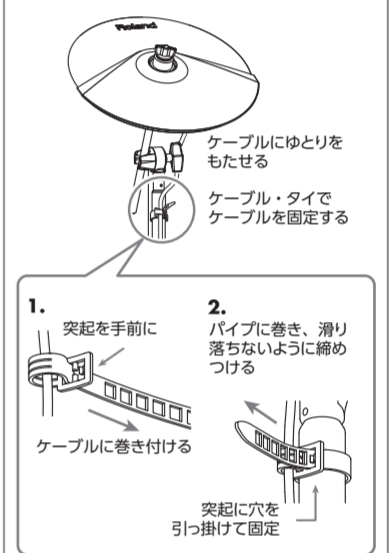


■ CY-8 (ライド/クラッシュ)

CY-8 各部の名称



ケーブルの固定方法 (CY-8)

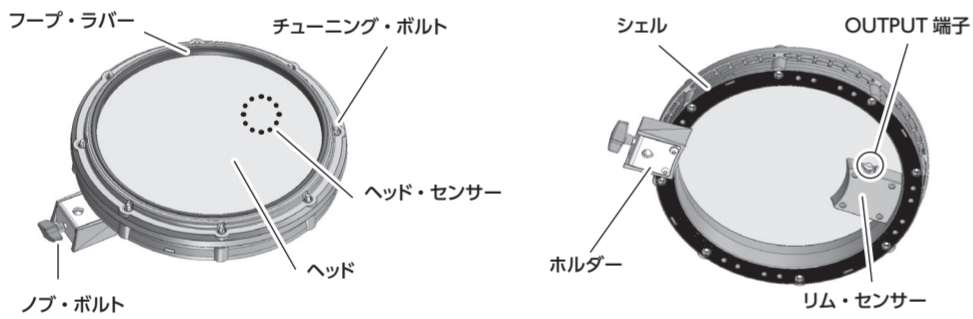


【注意！】

ご使用の年月とともに、パッドのゴム表面が変色することがありますが、使用上には影響ありません。

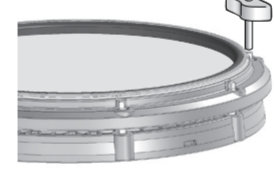
■ PDX-12 (スネア)

各部の名称



ヘッドの張り具合を調節する

ゆるむ しまる



工場出荷時は、ややゆるめの張り具合に調整されています。ご使用になる前に、ヘッドをやや強めに張ってください。

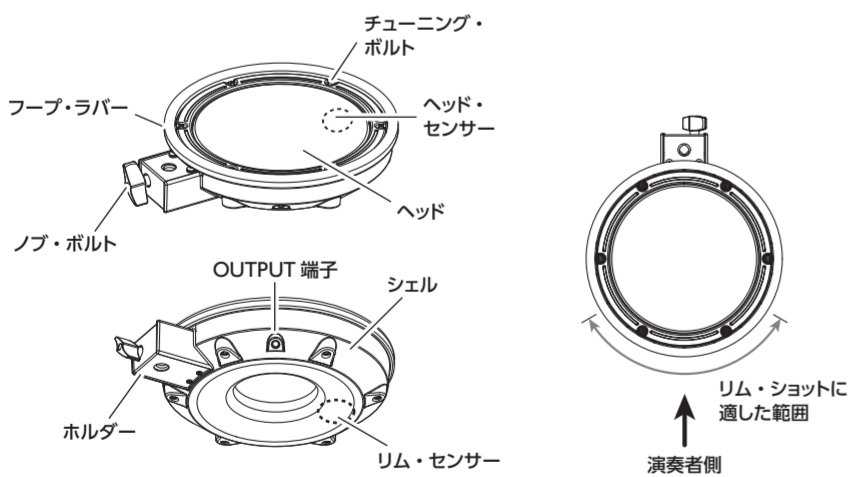
1. それぞれのチューニング・ボルトを、図のように対角線を結ぶ順に少しずつ調節します。

2. パッドの打感を確認しながら、さらに張り具合を微調整します。

※ 1箇所ずつのチューニング・ボルトを一度に強く締めないでください。ヘッドを均一に張れないため、適切な打感が得られなくなるだけでなく、誤動作の原因にもなります。

■ PDX-8 (タム)

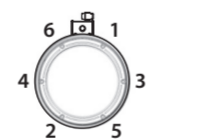
各部の名称



【注意！】

ご使用になる前に、必ずヘッドの張り具合を調節してください。

ヘッドの張り具合を調節する



1. それぞれのチューニング・ボルトを、図のように対角線を結ぶ順に少しずつ調節します。

張り具合は、アコースティック・ドラムの打感と同じくらいが適切です。

2. 必要に応じて、ドラム・キーで張り具合を調節します。

リム・ショットに適した範囲
演奏者側